

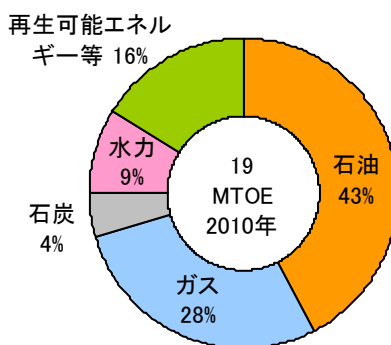
3-6 ペルー

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 19 百万 TOE (日本の 4%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 0.67TOE/人 (日本の 19%)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 100%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 41.9 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 3.7%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 1.44 CO₂ 換算 ton/人 (日本の 16.1%)
- (6) エネルギー別可採年数 (2011年末) : 原油 22.2 年、天然ガス 31.1 年

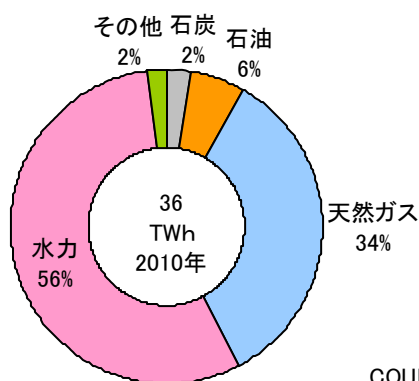
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: Peru

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012

電力供給構成 (2010年)



COUNTRY: Peru

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012

2. エネルギー政策のポイント

(1) 資源・エネルギー政策担当機関

- ペルーの資源・エネルギー政策は、エネルギー鉱山省が担当している。エネルギー鉱山省はエネルギーと鉱業を管轄している。2012年10月時点のエネルギー鉱山大臣は Carlos Herrera Descalzi 氏、エネルギー担当副大臣は Luis Alberto Espinoza Quiñones 氏、鉱業担当副大臣は Susana Vilca Achata 氏である。
- 石油部門の業務監査は主にエネルギー投資監督機構が担い、国営石油会社 Perúpetro が新規探鉱・生産契約の認可を行っている。

(2) 基本政策

- 2010年11月、エネルギー鉱山省は国家エネルギー政策 2010-2040 を発表した。
 1. 再生可能エネルギーとエネルギー効率化に重点を置いたエネルギー基盤の多様化
 2. 競争力のあるエネルギーの供給
 3. 国民にあまねく電力を普及
 4. エネルギーの生産と消費の双方において最大限効率化
 5. エネルギーの国内自給自足を達成
 6. 環境に及ぼす影響が最小で、温室効果ガス排出が抑制されたエネルギー産業の発展
 7. 天然ガス産業を育成し、高効率な発電等、家庭用、輸送用、商工業用のガス利用促進
 8. エネルギー産業の関連制度を整備・強化
 9. 長期的展望として南米域内エネルギー市場のインテグレーション

(3) 最近の動向

- 2012年7月、エネルギー鉱山大臣は、Camisea ガス田のエタンを原料とした石化プラントを建設することを政府が決定したと発表した。稼動は2015年後半。Camisea ガス田の天然ガスには10%のエタンが含まれている。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2010年8月、国際石油帝石 (Inpex) は子会社であるインペックス北ペルー石油を通じて、ペトロブラスからペルー北部の Block 117 の25%権益を取得することでペルー当局の許可を得た。Block 117 はペトロブラス 50%でオペレーター、コロンビア国営石油会社 Ecopetrol と Inpex が25%ずつ保有する。Block 117 鉱区周辺では、数億バレル規模の油田が複数発見されており、一部鉱区では原油が生産されているなど、今後、原油の発見が期待できる有望なエリアである。
- 2012年7月、三菱商事はペルー南部 Moquegua 地区の Quellaveco 銅開発プロジェクトの Anglo American Quellaveco の18.1%権益を、International Finance Corporation から取得したと発表した。

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	19 百万 TOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	0.67 TOE/人
(3)	GDP 当りの一次エネルギー供給	0.17 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	100 %
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	41.9 百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	1.44 CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	4 %
	石油	42 %
	天然ガス	28 %
	原子力	0 %
	水力	9 %
	再生可能エネルギー等	16 %
(8)	エネルギーの輸入依存度 (エネルギー純輸入量/TPES)	0 %
(9)	石油の輸入依存度	16 %
(10)	輸入原油の中東依存度	0 %
(11)	原油輸入先 (2011年)	
	第1位	エクアドル
	第2位	アンゴラ
	第3位	コロンビア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9)は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012

(5)～(6)は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2012

(10)～(11)はエネルギー鉱山省, Anuario Estadístico de Hidrocarburos 2011, Capítulo 4